

No.	p	内容	対応	対応・事務局コメント
1	1	3 上位・関連計画の整理 上位関連計画と図書館の関係性を次のように言語化する。 『図書館が地域の学びと交流の中心となることを目指す。具体的には、来館者が本や人との出会いを通じて自己成長を促進できる環境を提供し、次世代を担う子どもたちが安心して遊び学べる場を提供する。』	修正	3 上位・関連計画の整理 次の文章を追加します。 「これらの計画では図書館が地域の学びと交流の中心になることや、市民の居場所になることを位置付けています。」
2	1	3 上位・関連計画の整理 鶴岡市新図書館整備事業基本構想（方針：学び、出あい、居場所、子ども、郷土）は、第二次鶴岡市総合計画後期基本計画の「五つの加速化アクション推進事業」のすべての事業に関わると考えます。 図1－1基本構想の位置づけ の書き方を工夫し、新図書館整備はこれからの鶴岡市に必要で重要なことなのだともっと伝わるようにしてほしいです。	修正	図1-1 を修正します
3	6	「人・建物・資料」の観点からの分析が分かりやすかったです。 さらに追加すると、特に「人」に関しては、職員の視点に加えて「来館回数」が重要だと考えます。これを分析に加えることで、図書館が利用者のために存在することを示し、「来館回数」を最重要な KPI とし、その向上を目指すことができるように思います。	参考	来館回数は来館者数の増と連動します。新たな図書館では貸出し者数や貸出し冊数に加え、居場所や出あいの場として来館回数（来館者数）を重視していきたいと考えています。
4	7	「来館者数を増やすためだけに本来の目的を見失わないように」とありますが、この方の言いたいことは理解できますが、そもそも人が来なければ、本や資料との結びつきは生まれないと思います。 図書館機能自体の品質向上は進めるべきですが、図書館活動の本質は利用者との接点を構築し、来館者数を増やすことが活動の本丸だと考えます。私の所属する企業でも「利用者数と満足度を KPI にし、ユーザー中心に考える」ことが重要視されています。図書館を含む広く公開されているサービスにおいて、人が集まらないことは「ユーザー満足度が低い」と評価されることが多いです。多くのサービスがユーザー数を軽視した結果、利用者が離れ、サービスが廃止される例があります。※次ページへ	参考	委員ご指摘の 「図書館活動の本質は、利用者との接点を構築し、来館者数を増やすことが活動の本丸」という考えは大事であり、満足度の評価指標の検討が必用と考えています。 このコメントにあるような、図書館の本質と来館者数などのバランスも大事にしていきます。

No.	p	内 容	対応	対応・事務局コメント
4	7	※前ページから 図書館も「利用者のための存在」を重視し、「利用者数」を満足度の評価指標として認識することが重要だと考えます。 「来館者数を増やすためだけに本来の目的を見失わないように」という意見は一理ありますが、「本来の目的」を具体的に言及せずに「来館者数の増加」を除外することは、利用者を考慮しない「サービスの独りよがり化」を助長する恐れがあると感じます。私の経験からの意見です。 (もちろんコメントは自由ですし、この方の「本来の目的」に「来館者数の向上」以上の優れた目的が含まれているなら、ぜひお聞きしたいと思います)		
5	11	・基本理念は「学ぶ 出あう・育つー「居場所と子どもと郷土を創る」ー鶴岡の学びと出あいと誰かが共に育ち、知（恵）と徳（愛）を深めて交流するー 市民と共創していく、市民がかかわる、共創のまちづくりのイメージ。市民が知恵を出し続けて持続的解決を目指すため、図書館がまちづくりのキーステーションになるといい 理念にみんなで育てる図書館を入れてはどうか。図書館の名前も市民図書館、公共図書館をいれるとか。	検討	11p の基本理念は事務局作成の素案です。委員の皆様からのご指摘を基に修正していきます。
6	12	・居場所には「一人で」と「みんなで」の二方向のセッティングが必要となる。密室と密室外の空間も含め、真の「居場所」に成る設定を望む ・「関わりあう」中で人は育つ。自分への愛があって、他人を大切にすることが生まれる。自分だけよければいいではない風が流れる場所にしたい。 ・図書館は地域の未来を心に育む場所である。「ゆっくり・思い思いに」が「ひっそりワクワドキドキ」と活かされる場所でありたい。基本構想なので抽象的なまとめに終わる段階と考えるが、大方同意できる。	修正	12p の居場所について次のように修正します。 「だれでも気軽に立ち寄り、居心地よく過ごせる場所になることを目指します。また、出あいや学びを育む空間づくりも大切にします。」

No.	p	内容	対応	対応・事務局コメント
6	12	ほかの「居場所」では達成できない図書館ならではの「居場所」を盛込むといい。コミセンなどと差別化した居場所。 コミセンではない図書館的な居場所になるべき。 本を読むわけじゃないけど、行きたくなる場所にしたい。そこに行くにああしよう、こうしよう、行けば何かが叶う場所に。 静かに自分を見つめなおす空間、心の休息がとれる空間も大事。 施設整備の必要性が居場所だけでいいのか。図書館ならではの居場所を強調していく必要がある	修正	12p の居場所について次のように修正します。(際系) 「だれでも気軽に立ち寄り、居心地よく過ごせる場所になることを目指します。また、出あいや学びを育む空間づくりも大切にします。」
7	11 ～ 12	1. 基本理念/基本方針について 基本理念や基本方針から、全体を通して「積極性」や「能動的」というようなアクティブなイメージを受けました。「図書館は、学びや出会いを求めている人が行ける場所」という感じです。そもそも図書館という場所はそういうところだというのは分かりますし、新図書館の整備の目的の一つにある、地域の賑わいを創出するという部分では方向性として合致していると思います。 ただ、【居場所について】懇話会や市民対話の中では、特別な目的がなくても行ける場所、居心地の良さや過ごしやすさを備えた場所、学校にいけない子でも行ける場所というような視点もふまえて居場所について考えたと思うので、そういったメッセージも反映出来ればと思いました。多様な過ごし方ができる（尊重し合える）、本や資料を通じて地域や社会とつながる場、というようなニュアンスがあると、「図書館は誰が行っても良い場所なんだ」と感じるかなと考えました。 P13 で示している”主なサービスと利用イメージ”、”想定する主な機能や施設”には、以上で示したことがある程度網羅されていると思うので、それで良いのかもしれませんが、概要にも載る基本方針でも示すことができると良いと思います。 健康で元気な方以外や日本人の方以外へのアプローチも考えてほしい	修正	No.6 と同じ

No.	p	内 容	対応	対応・事務局コメント
8	12	新図書館の5つのキーワードと基本方針 5つのキーワードはとても分かりやすいです。 さらに整理すると、特に以下の3つは独立するものではなく、以下のよう に位置づけられるように思います。 ■5つのキーワードの構造 「①居場所」→「②出会い」→「③学び」。 Step1:「①居場所」を提供することで人が集まる Step2:人が集まることで、「②出会い」と交流が生まる Step3:出会いと交流が人と本との交流を促進し、「③学び」の場に昇華する 既に「学び」の要素は図書館に相対的に強いと思いますので、新図書館 では、前段の「①居場所」作りを強化することが基本方針の流れに沿うと 考えます。	検討	リード文に次の文を追加します。 「人が集まり、本との出会い、人との 出会いを通じて新たな学びにつな がるような…」 「学び」を最初のキーワードとして いるのは、鶴岡が学びを大事にして きた地域性があり、図書館の本質に も関わる項目であるためです。また、 人が本に「出あう」、本を通じて人と 人が「出あう」ことも図書館でできる ことと考えています。
9	13	図書館としての基本的機能の整理 「想定する主な機能や施設」は、実際の図書館のイメージが沸き、とても 分かりやすいと思います。 さらにコメントすると、新規のものを★印で区別し、必要な機能を明確に すると良いと思います。 また、「飲食ができる場所の提供」として、図書館内に「飲食スペース」 を設けるだけでなく、カフェや産直を併設することも委員会で意見として 出ていたと思いますので、これからも記載いただけるとありがたいです。 これにより「居場所」や「出会い」を強化され、来館者数の増加に貢献す ると考えます。また、これからこの機能や施設を全て盛り込むのか、一部 にするのか等の議論がなされると思いますが、この優先度付けが今後の重 要論点になると思います。 どうすれば、五つの基本方針が実現されるのか、その中でも KPI に貢献 するものがどれなのかを費用対効果の高いものから選び、並列ではなく、 重要性の高いものが選定されるような資料構成ができると、その後の機能 や施設選定の議論に活用できると思います。	修正	「想定する主な機能や施設」の部分 はご指摘を踏まえ、分かりやすくな るよう修正します。 カフェや産直の併設について、構想 の段階では「飲食スペース」「交流ス ペース」の中に含まれるとご理解く ださい。

No.	p	内 容	対応	対応・事務局コメント
10	13	1 図書館としての基本的機能の整理／主なサービスと利用イメージ上から13番目「子育て家族を支える空間の提供」 →「家庭」ではなく「家族」としたのは「場所」と「人」の違いからでしょうか？人を支える、という意図があって選択した表現か、伺いたいです。	修正	子育て家族を支える→子育てを支える に修正します。 親だけでなく子どもの身近にいる人も含むイメージで作成しています。
11	13	理念から方針～機能や施設のつながりをもっと分かり易くしてほしい	修正	矢印の位置などを調整します
12		地域性のある資料を収集するなど、分館ごとに特色がでるといい。 分館との連携と情報発信を充実できるといい、 郷土資料は合併前の自治体のものも大事にしてほしい	修正	次の文章を追加します 「(分館が) 地域独自の資料収集の窓口となり…」
13		2(2)移動図書館「やまびこ号」の本文中にある”高機能化”に関することがよく分からなかったです。もう少し分かりやすく説明してもらえると嬉しいなと思います。	修正	次のように修正します。 「オンラインサービスと移動図書館の組み合わせや～巡回地との新たな連携も検討します」
14		歴史的文化的な風土の独自性を活かす郷土資料館との併設は、国内的にも質の高いオリジナリティを有するので、この体制保持に同意し拡充を望む		郷土資料館は今後、専門家の意見を聞きながら本市ではどのようなあり方が必要なのか検討します。
15		郷土資料館には資料を紹介し発信していく展示スペースが必要	修正	次のように修正します。 「市民や市外からの研究者あるいは観光客など多くの人に郷土資料を展示・紹介する機能を設けます。」
16		4 基本的機能を支え、拡張する機能 想定される機能の列挙の表記方法について、「機能」をすべて付記するか否かご検討ください。(「機能」を書かないほうがすっきりするか…どちらがいいか悩むところですが)	修正	「機能」を書かない形に修正します。
		図書館と「何か」はノビシロがある。他の事業とのコラボ、いいとこどりを考えてほしい。例：ファミサポとの連携、ぬいぐるみのお泊り会…	参考	

No.	P	内容	対応	対応・事務局コメント
17	14	学校図書館に貸出しができるとか、連携が必要。子どもたちも手にとれるところにあると読める。	修正	4 拡張する機能に「学校教育支援」を追記します。
18		単独で建てるより、何かと一緒に建てるといい。 こういう図書館を目指す、ここに来れば何かあるというような形に。	参考	
19	14	拡張する機能で生涯学習や子育て、健康支援を図書館でやる必要があるか	質問への回答	図書館にこれらの機能を近接、隣接することで相乗効果を生み出す機能ととらえています。
20	14	健康増進は情報の新しさも大事。図書だけでなくアプローチの仕方を変えてはどうか。	質問への回答	図書だけでないアプローチについても関係する団体や機能との連携も踏まえ検討していきます。
21	15	今はコンパクトシティとしての施策に注力しなければならなくなっている。中心市街地を密度高く充実させ、図書館までの移動に関わるデマンドは別途に利便性を構築すべき。	参考	2 事業用地選定の考え方 に「本市ではコンパクトシティを目指しており」を追記します。 移動手段は、徒歩、自転車、公共交通、自家用車など様々な手段で対応を検討します。
22	15	事業用地の選定の考え方 記載内容に同意します。 以下は感想であり、個別でもお話しした内容と重複しますが、改めて私の意見を述べます。 図書館の重要な KPI を「来館回数」と定義するなら、「①居場所」→「②出会い」→「③学び」の順で機能を発揮できる場所を選定することが重要だと考えます。そのため、中心市街地に位置し、学生や地域住民が徒歩や自転車で訪れやすく、観光客が集まる鶴岡公園や文化施設に近接している場所が理想だと考えます。 個人的には、鶴岡公園の南側、駐車場や市民プール、老人福祉センターの立地を再開発することが最適だと考えます。 ※次ページへ	参考	今後の参考とさせていただきます。 事業用地は来年度策定する基本計画の中で、P16 に検討項目として記載した「選定基準」を踏まえ検討します。

No.	P	内容	対応	対応・事務局コメント
22	15	※前ページから 鶴岡公園に隣接した羽黒街道沿いに立地し、芝生に囲まれた図書館を建設します。芝生を通じて西側のタウンキャンパスから東側のアートフォーラムに抜けられるようにし、連携性を高め、メインエントランスを羽黒街道沿いに配置することで導線が確保されると思います。 また、図書館内に市民や観光客が日常的に利用する店舗（カフェや産直など）を併設することで、鶴岡公園や羽黒街道沿いから歩行者がカフェに入り、その後同じ施設内の図書館にも寄れる導線を作ることができ、地域全体の街づくりにも貢献できます。	参考	
23	15	事業用地として中心市街地への整備を優先的に検討しているというが、駅前と鶴岡公園周辺では方向性が違う。建物の敷地によって外で読み聞かせができるか、なども大事。	修正	2 事業用地選定の考え方 に 「緑豊かな場所で読み聞かせをした い」 を追記します。
24	16	運営体制の考え方 個別でのお話した内容と重複しますが、 指定管理を用いた委託契約での運営も考えられますが、市の意向を伝える場を設け、市役所側の担当者を配置することが重要だと考えます。 企画や推進は委託事業者任せつつも、決定権や指示の権利は市側が持つことを契約で明確にできることが望ましいです。 また、市民の意見を反映する場を設け、市民が常に意見を言える仕組みがあることが望ましいです。新図書館基本構想企画懇話会の図書館委員のように、市民から選出された委員、指定管理事業者、市役所担当者が定期的に議論できる場を設け、市民を巻き込んだ運営を推進できると、市民に開かれた図書館運営につながると思います。 議論テーマは「子どもを図書館に呼び込む方法」や「図書館をより良い居場所にする方法」など簡易的なもので良いと思っており、定期的に図書館を改善できると良いと思います。 ※次ページへ	修正	3 運営体制の考え方に次の文を追記します。 「基本理念を実現するため、図書館活動を支える市民の多様な参加の形を運営体制の中で考えていきます」

No.	P	内容	対応	対応・コメント
24	16	※前ページから 市民選出の委員は形骸化しないように年度などで定期的に入れ替えられると、より幅広い市民の意見を聞けるように思います。 また、卒業した市民委員経験者は、希望者には「市民図書館サポーター」等に任命し、継続的にサポーターとして関わっていただける仕組みを作ると、指定管理や市役所側のみでない、市民も含めた運営体制にできると考えます。 委員に任命される方、また年度で議論した経験のある方は支援意識が高い方が多いと思うので、卒業生の一定数が「市民図書館サポーター」（仮名）に関わりたいという人は多いと思います。		3 運営体制の考え方に次の文を追記します。（再掲） 「基本理念を実現するため、図書館活動を支える市民の多様な参加の形を運営体制の中で考えていきます」
25	19	今後の検討課題 「事業用地の絞り込み、選定」「現図書館の跡地利活用の検討」とあるのは、新図書館は別の場所に建設するということが決定しているということでしょうか？	質問への回答	現地では理念や方針の実現は難しく、先行して策定した中心市街地将来ビジョンでも中心市街地への整備が求められています。
26	全体	令和15年開館まで、来年7年度から7年間の長期事業になるので、想定外の少子化進展と人口枠縮小をどのように推測するか難しい課題となる。 市民の中には、2年か3年後を想定している方も多いため、図書館整備を夢物語に終わらせない「新しい図書館共創」の意欲を喚起し続け、現実の職員・施設・企画を活かした図書館運営の充実を発信し続けることが大切となる。山積する課題に毎日対応している、今を生きている方々の努力に対する「敬愛」「感謝」をベースに、高齢者にも協力を得たいと思う。	修正	16p 3 運営体制の考え方に次の文を追記します。（再掲） 「基本理念を実現するため、図書館活動を支える市民の多様な参加の形を運営体制の中で考えていきます」
27		図書館は建物をつくるのではなく、将来を見据え、図書館を建てるとしたらまちづくりの課題が半分くらい解決できたら、図書館がまちの発展に貢献するだろう。	参考	来年度策定予定の基本計画の中で重要な視点として検討していただきます。

No.	P	内 容	対応	対応・コメント
28	全体	人口減少時代、図書館運営も維持費を含め効率よく運営できるように。構想に言葉として人口減少、市民と共創していく、市民がかかわる、共創のまちづくりのイメージを入れてほしい。	修正	11 p 図書館が大切にしていきたいこと 二つ目の○で下線部分を追記します。 「○人口減少が進むなかにあっても図書館は市民が本に出合う機会と～」
29		市民が知恵を出し続け持続的な解決を目指すため、図書館がまちづくりのキーステーションになるといい。	修正	16 p 3 運営体制の考え方に次の文を追記します。(再掲) 「基本理念を実現するため、図書館活動を支える市民の多様な参加の形を運営体制の中で考えていきます」
30		懇話会の委員の方が今後ボランティアとして何ができるか、考えをもちより研修会を開催し、意見を出し合いたい。		
31		子育て支援事業もそこだけで完結するのではなく、意図的に図書館に来館を促すようにつなげたい。	参考	基本方針に基づき今後検討していきます。
32		お金をかけなくても敷居を低く入りやすく分かりやすく、来やすい図書館になってほしい		
33		どの世代にも気軽に足を運んでもらえるように …キャラクターなどの出沒もあり、図書館自体にキャラクターがあってもよい。【図書館の日】を作りイベントを盛り込んではどうでしょうか。各年代で楽しめる、昔のまち、時代を振り返る、(昔のスーパーのチラシの展示とか、つるおか広報の初回・50回・100回…のような節目の展示)→郷土資料の開放市民巻き込み型「行ってみたい!! 行ってみよう!! 新図書館」「学び」「出会い」「居場所」「子ども」「郷土」すべてをつなげる【図書館の日】あったらいいなのひとつです。		